カメラスケッチ 広報マンが行く!!

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913（課直通）

4月20日～30日

町内3郵便局と協力

春の火災予防運動を実施

マグネットシートを持つ池田署長（右）と藤原将男局長（左）

弟子屈消防署（池田保士署長）は、全道春の火災予防運動期間中に合わせて、町内の郵便局3局（弟子屈・川湯・美留和）の協力を得て、集配車の側面に2種類の広報用マグネットシート「火災予防運動実施中」「住宅用火災警報器設置しましょう！」を張り付け、4月20日から30日にかけて啓発活動を行いました。

池田署長は「町内移動する集配車に、火災予防広報のご協力をいただくことで、より一層の予防啓発効果が期待できる。」と話していました。

4月23日

釧根地区初

摩周湖観光協会が旅先納税を導入

ポスターを持つ徳永町長（左）と渡辺会長（右）

摩周湖観光協会（渡辺隆幸会長）は4月23日、旅行先の自治体へのふるさと納税で市町村内の店舗などでの飲食や宿泊などの支払いで使える電子商品券を返礼として受け取れる「旅先納税」を導入し「弟子屈eたびクーポン」の運用を始めました。

道内では、15件目の導入となりました。町内の飲食店8店、宿泊施設7軒、カヌーなどの体験施設4件の計20か所で使用することができます。

渡辺会長は「町内の業者を活性化し、町が元気になるきっかけになれば。」と話していました。

4月23日

子どもの読書意欲向上

町図書館が文部科学大臣表彰を受賞

賞状を手にする図書館職員

町図書館は4月23日、文部科学大臣表彰のうち「子供の読書活動優秀実践図書館」として表彰され東京都で表彰式が行われました。

この表彰は、子供が積極的に読書を行う意欲を高める活動を実践している学校や図書館などが対象となり、図書館で本を選ぶ余裕がない子育て世代向けに絵本3冊が入った手提げ袋を並べた「絵本バックコーナー」などが高く評価されました。

岩原勝行教育長は「これからも町民の視点に立ち、本との出会いを提供する運営を続けていきたい。」と話していました。

4月25日

たくましく育つには

川湯保育園でこどもの日

先生による人形劇

今年度より新園舎となった川湯保育園（番場新一郎園長）で4月25日、こどもの日の催しが行われました。

こどもの日の催しでは、先生による金太郎の人形劇を通して、たくましく育つにはどうしたらいいのかを学びました。人形劇が終わった後には、お友達と元気な掛け声とともに、相撲で力くらべをしました。お友達に負けて悔し涙を流したり、勝って大喜びするなど思い出に残る催しとなりました。

4月24日

交通ルールを守ろう

全校生徒に交通安全指導

バス内輪差の巻き込み衝突実験

弟子屈小学校（渥美清孝校長）が、弟子屈警察署（五十嵐敏行署長）渡部交通課長の指導のもと交通安全教室を4月24日、小学校舎前で行いました。

この日は登下校や自転車のルールを確認した後に、ダミー人形を使った時速40kmのスピードの衝突実験やバスの内輪差による巻き込み衝突実験が行われました。実験を目の当たりにした生徒たちからは、ぶつかったときの衝撃や音の大きさに驚きの声があがりました。

実験のあと、渡部交通課長から「交通ルールを守り、事故に遭わないよう交通安全のポイントをしっかり覚えて、自分の命を守りましょう。」と講評があり、生徒たちは大きく返事をしていました。

5月1日

GWのイベント

川湯で音楽ライブを実施

バケツドラマーMASAさん

てしかがえこまち推進協議会（徳永哲雄会長）のアート部会（今井善昭部会長）が主催する音楽ライブが5月1日、ArtINn極寒藝術伝染装置で行われました。

ライブで演奏したのは、Heartsさん、そ～っとワッツさん、バケツドラマーのMASAさんの3組でそれぞれたくさんの曲を演奏しました。

会場には、約20人が来場し、皆さんの演奏を聴きながら手拍子が聞こえたり、途中盛り上がり踊っている人もいて、大いに盛り上がりました。

5月1日

町消防創設100周年

記念プレート除幕式を開催

プレートの前で記念撮影

弟子屈消防署（池田保士消防署長）は、町消防の創設から100周年を迎え、歴史をつづった記念プレートを作製しその除幕式が5月1日、弟子屈消防署で行われました。

プレートは、縦90cm、横120cm、厚さ5㎜のステンレス銅板を使用しており、沿革や1935年に撮影された消防手と消防車の写真が刻まれていました。

除幕式には、徳永町長や藤田消防団長ら関係者約10人が出席し、藤田団長は「多くの皆さまに見ていただき、感謝の思いと町の災害活動に挑み続けた消防団の功績が継承されれば嬉しい。」と感謝の気持ちを話していました。

5月9日

迅速な復旧を

大規模災害時における基本協定調印式を実施

町とNTT東日本北海道東支店の締結

町は、東日本電信電話株式会社北海道東支店（北垣雅之支店長）と大規模災害における基本協定を結び、その調印式が5月9日に町役場で行われました。

同協定は、地震などの災害時に倒木や倒壊電柱などを協力して撤去し、町民の安全を確保することを目的としています。調印式では、徳永町長と北海道東支店の北垣雅之支店長が署名しました。

北垣支店長は「自治体と連携し、迅速な復旧を目指したい」と話していました。

5月1日～31日

8人のアーティストによる合同作品展

風景展～今を生きる～作品展を開催

弟子屈の風景をテーマにした作品の数々

てしかがアートプロジェクトの風景展～今を生きる～作品展が5月1日～31日まで、弟子屈郵便局（藤原将男局長）ロビーで開催されました。

町内在住の名知房さんが声を掛けたことがきっかけとなり、同プロジェクトを立ち上げ、「今を生きるクリエータたちが捉える風景」をテーマに郵便局で初めての展示となりました。摩周湖や川湯温泉など弟子屈らしさを表現したイラストや写真が19点展示され、来場者の目を楽しませていました。

5月22日～24日

大きく育って帰っておいで

町営牧場へ若牛が入牧

牧場に到着した牛たち

5月22日～24日の3日間の日程で、町内酪農家で育てられた若牛が町営牧場・900草原へ入牧しました。

家畜者で各農家から運ばれてきた牛たち。牧場へ到着すると、体重測定や個体写真の撮影、消毒などが受けた後、広々とした牧場へ放牧されました。

今年は1,444頭の牛が入牧。これから10月末まで、栄養豊かな牧草を食べ、起伏ある牧場内を元気に走り回り、たくましく成長して畜主のもとへ帰ります。

5月14日

明盛建設㈱の社会貢献活動

弟子屈高等学校から感謝状贈呈

賞状を受け取る佐藤所長（中央）と澤田教頭（伸土木部工事長（右）

弟子屈高等学校（高野龍彦校長）は5月14日、社会貢献活動を行った明盛建設㈱（尾崎幸太代表取締役）に対し感謝状の贈呈式を同社弟子屈営業所（佐藤昭男所長）で行いました。

社会貢献は、生徒らに授業や部活で安全に元気よく使用してほしいとの思いから、2014年より行われているもので、今年は4月19日、弟子屈営業所の10人の従業員によりグラウンドの整備やベンチの修理などが行われました。

高野校長は「生徒たちが楽しく学校生活を過ごしてもらうために、今後も続けて欲しい。」と話していました。